

DT+FS インストールマニュアル



ハートランド・データ株式会社

〒 326-0338 栃木県 足利市福居町 361

TEL:0284-22-8791 / FAX:0284-22-8792

URL:<https://www.hldc.co.jp>

用途制限

- 次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を戴くとともに、弊社にご連絡くださるようお願い致します。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境での使用。
 2. 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。
- 本製品は人の生命に直接関わる装置 (*1) や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置 (*2) などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途に使用しないでください。
 1. 人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。
 - 生命維持装置や手術室用機器などの医療機器
 - 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置・消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
 - 上記に準ずる装置
 2. 人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。
 - 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
 - 原子力発電所などの装置
 - 上記に準ずる装置

免責事項

- 地震、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 仕様書や取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 仕様書や取扱説明書に記載されている以外の操作方法によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者（指定外のサービス店等）が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 本製品の仕様書に記載のない項目につきましては、保証対象外とします。

目次

1	DT+FS のセットアップ	5
1.1	動作環境	5
1.2	インストール前の確認事項	6
1.3	DT+FS のインストール	6
1.4	デバイスドライバのインストール	9
1.5	DT+FS のアンインストール	12
2	ライセンスのセットアップ	15
2.1	ライセンスの構成	15
2.2	セットアップ前の確認事項	16
2.3	Windows サーバーのセットアップ	16
2.4	Linux サーバーのセットアップ	22
2.5	クライアントマシンのセットアップ	24
2.6	ライセンシングの確認	26
2.7	ライセンスの更新	27
2.8	トラブルシューティング	29
3	付録	37
3.1	マシンの固有情報の確認方法	37
4	変更履歴	38

1 DT+FS のセットアップ

本章では、DT+FS（ディーティープラスエフエス）アプリケーション（以下 DT+FS）をインストールする為の準備、及びインストール手順について説明します。

1.1 動作環境

1.1.1 日本語版オペレーティングシステム

- Windows 10 (64bit)

注意

WindowsInstaller3.1 及び Microsoft.NET Framework2.0 以上が未インストールの場合、セットアップができません。WindowsUpdate を実施してこれらをインストールしてください。

1.1.2 コンピュータ本体

- Intel Core i7 を推奨（必要動作環境 Core i5 以上）または同等の AMD 製 CPU
- クロック周波数 3.0GHz 以上を推奨（最小 2.0GHz）
- USB3.0 ポートが利用可能であること

注意

シンクライアント PC はご利用できません。

1.1.3 メモリ

- 8.0～32.0GByte 以上を推奨（最小 4.0GByte）

1.1.4 ハードディスク

- 本アプリケーションのインストールには、500MByte 以上の空き容量が必要
- テストレポート解析には 2.0GByte 以上の空き容量が必要
- テストレポート収集には別途 1.0GByte 以上の空き容量が必要

1.1.5 ディスプレイ

- ディスプレイ解像度 XGA（1024×768 ピクセル）以上が必要
- ディスプレイ解像度 WXGA +（1440×900 ピクセル）以上を推奨
- ディスプレイの文字サイズは既定値、または標準サイズでご使用ください

1.2 インストール前の確認事項

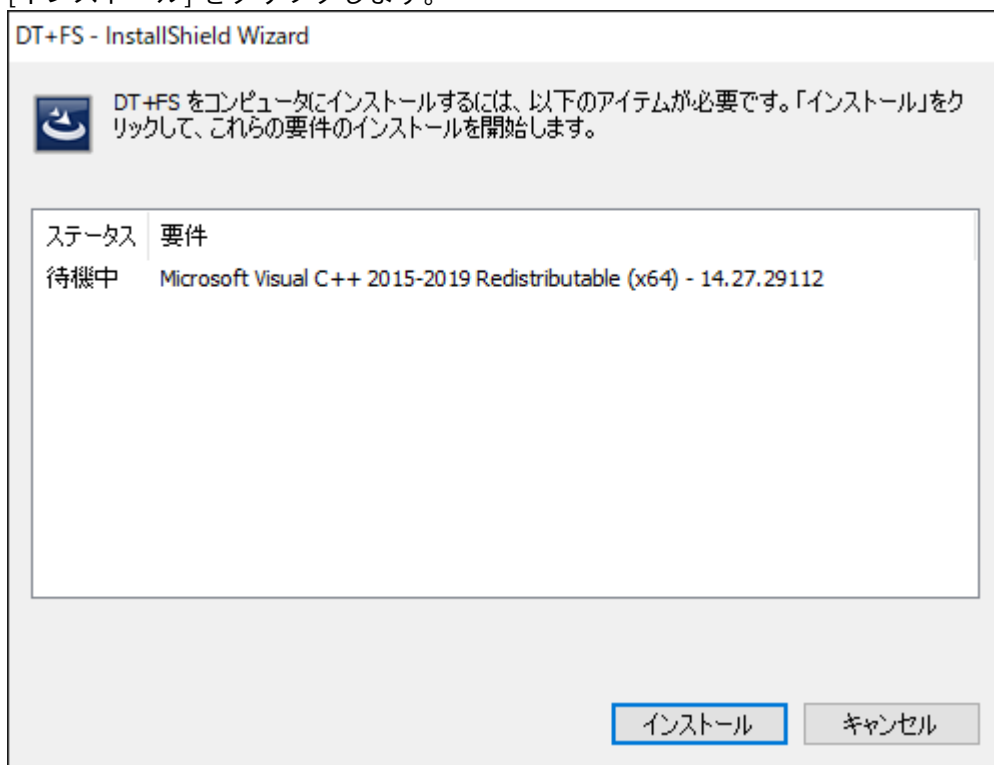
次のアプリケーションがインストールされている場合、アンインストールしてください。

- DT10 AutomotiveEdition
- ソースコード解析ツール Understand (テクマトリックス社)

1.3 DT+FS のインストール

setup.exe を実行すると DT+FS および実行に必要な環境のインストールが始まります。以下の手順に従いインストールを行ってください。

1. DT+FS の起動に必要なアプリケーションがインストールされていない場合、これらのインストール画面が表示されます。
[インストール] をクリックします。

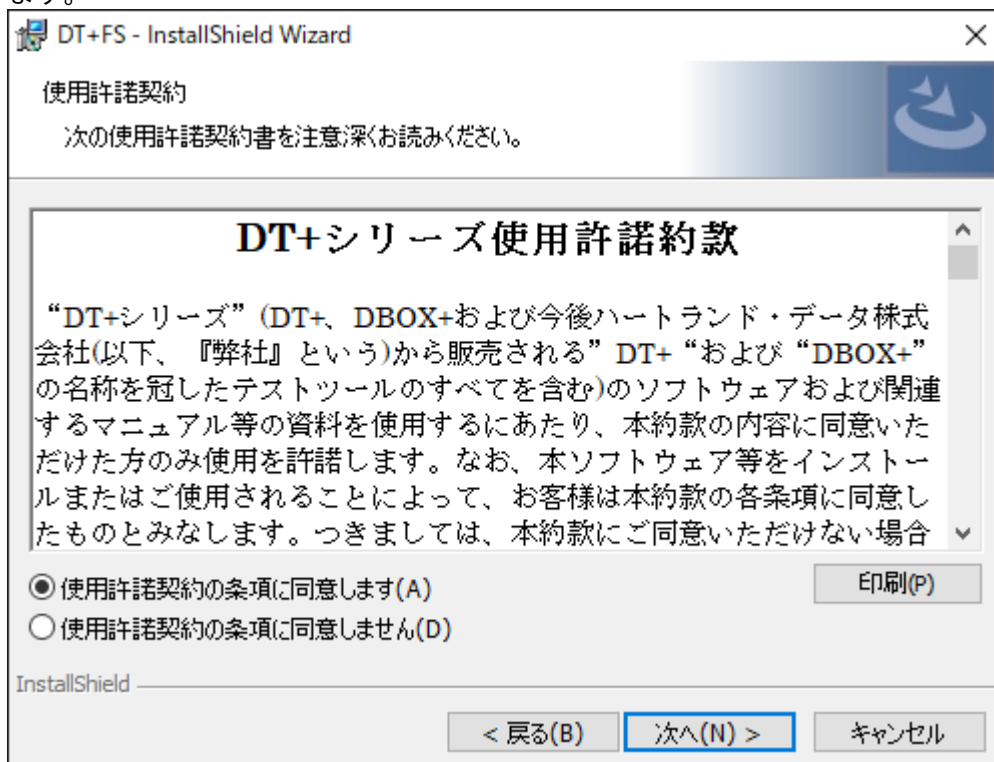


2. DT+FS の起動に必要なアプリケーションのインストールが行われます。
3. インストール準備が整うと、「ようこそ」画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。



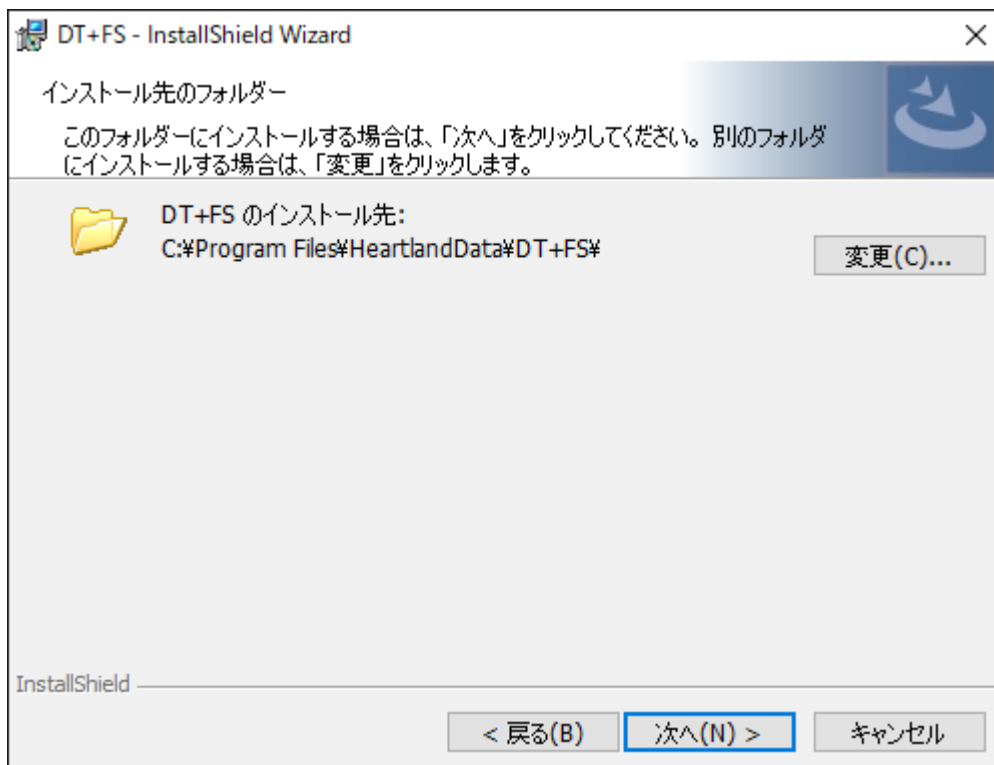
4. 「使用許諾契約」画面が表示されます。

使用許諾契約書を確認の上、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

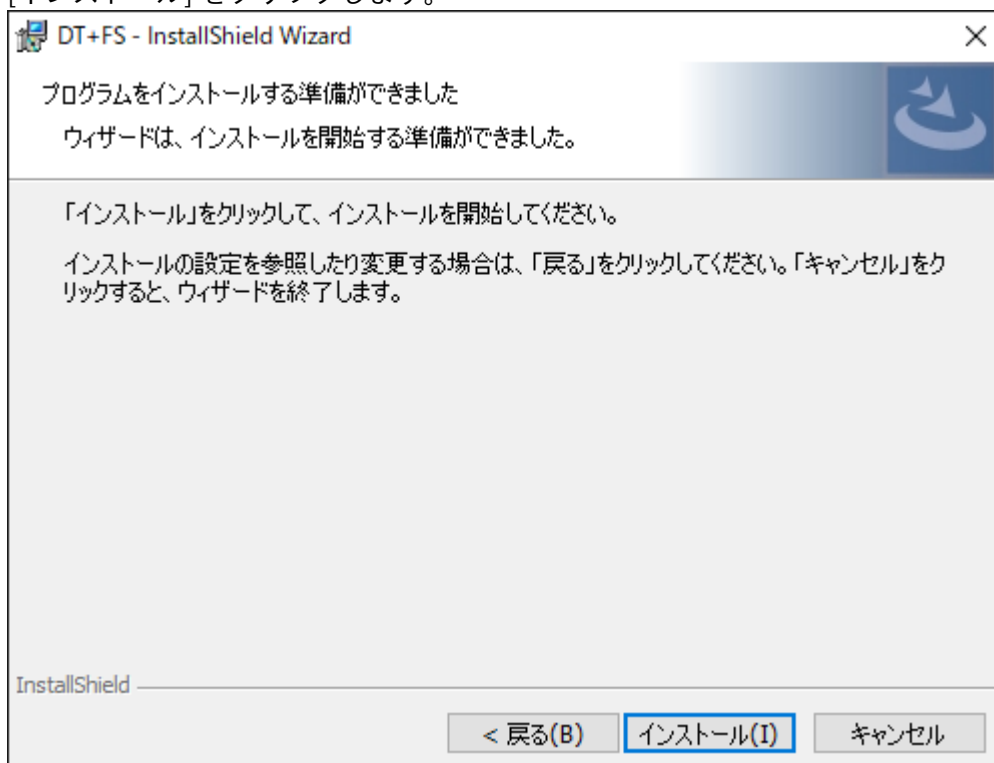


5. 「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

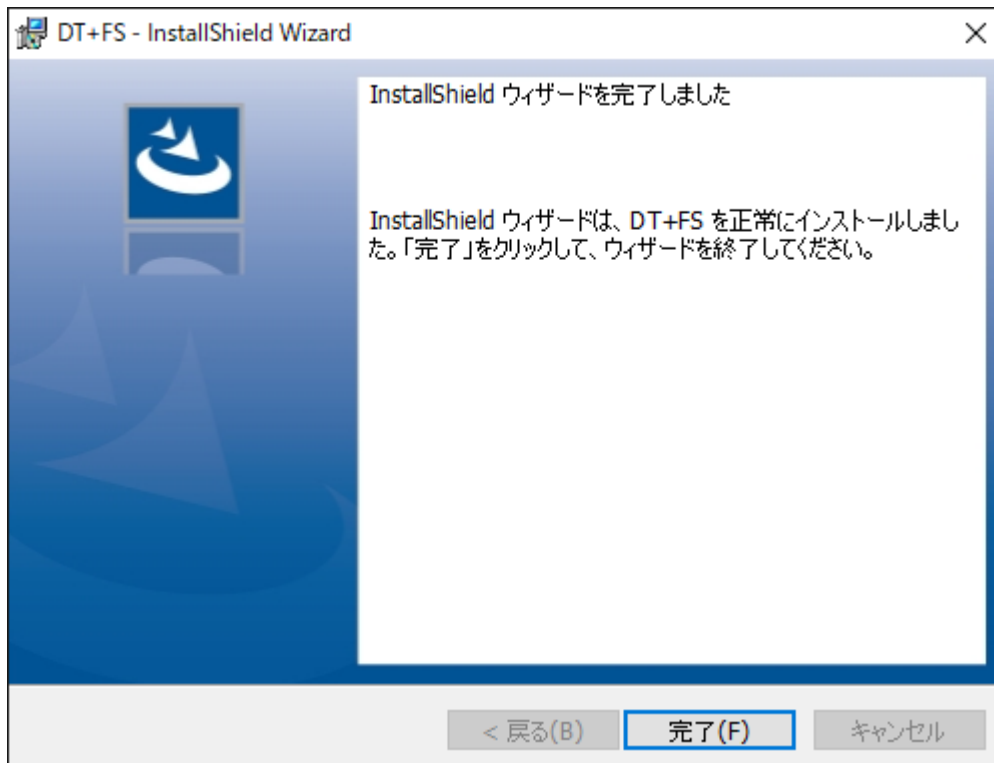
必要に応じてインストール先を変更します。[次へ] をクリックします。



6. 「インストール準備完了」画面が表示されます。
[インストール] をクリックします。



7. インストールが行われます。
8. 正常にインストールされると、「完了」画面が表示されます。
[完了] をクリックします。



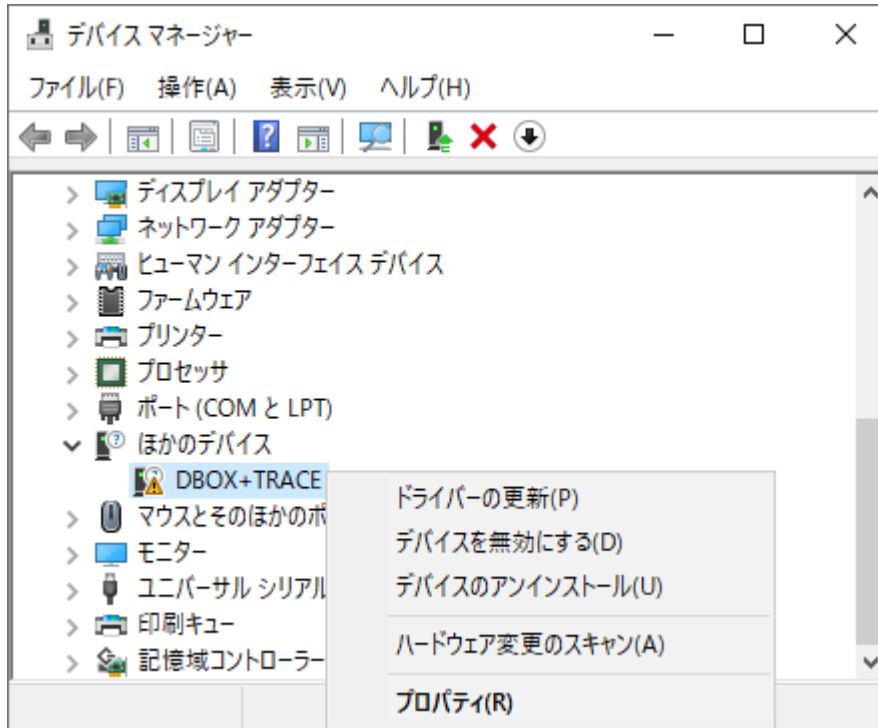
以上でインストール作業は完了です。

1.4 デバイスドライバのインストール

注意

DBOX+Trace をご使用にならない方はインストール不要です。

1. PC と DBOX+Trace を接続します。
2. 「デバイスマネージャー」を開きます。
3. [DBOX+TRACE] を右クリックし、メニューから [ドライバーの更新] をクリックします。



4. 「ドライバーの更新」ダイアログから、[コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索] をクリックします。

✕

← 🖨️ ドライバーの更新 - DBOX+TRACE

ドライバーの検索方法

→ ドライバーソフトウェアの最新版を自動検索(S)

このデバイス用の最新のドライバーソフトウェアをコンピュータとインターネットから検索します。ただし、デバイスのインストール設定でこの機能を無効にするよう設定した場合は、検索は行われません。


→ コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索(R)

ドライバーソフトウェアを手動で検索してインストールします。

キャンセル

5. [参照] から検索先フォルダとして、DT+FS のインストールフォルダ内にある `drive` フォルダから、OS に合わせたフォルダを指定します。

[次へ] をクリックします。

←  ドライバーの更新 - DBOX+TRACE

コンピューター上のドライバーを参照します。

次の場所でドライバーを検索します:

参照(R)...

サブフォルダーも検索する(I)

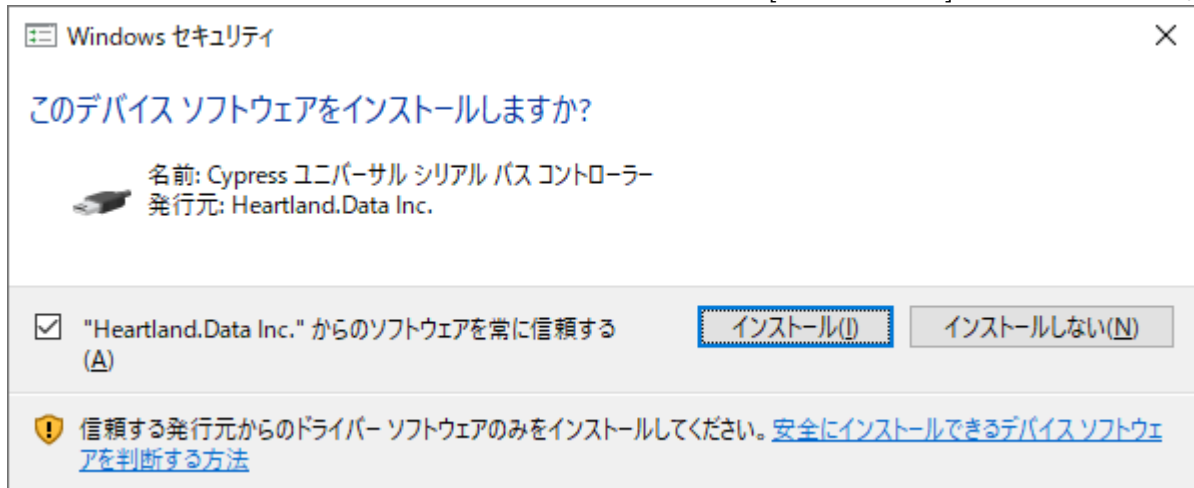
→ コンピューター上の利用可能なドライバーの一覧から選択します(L)

この一覧には、デバイスと互換性がある利用可能なドライバーと、デバイスと同じカテゴリにあるすべてのドライバーが表示されます。

次へ(N)

キャンセル

6. 「Windows セキュリティ」ダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックします。



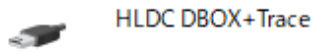
7. インストールが行われます。
8. 正常にインストールされると、「完了」画面が表示されます。
[閉じる] をクリックします。



← 🖨️ ドライバーの更新 - HLDC DBOX+Trace

ドライバーが正常に更新されました

このデバイス用のドライバーがインストールされました:



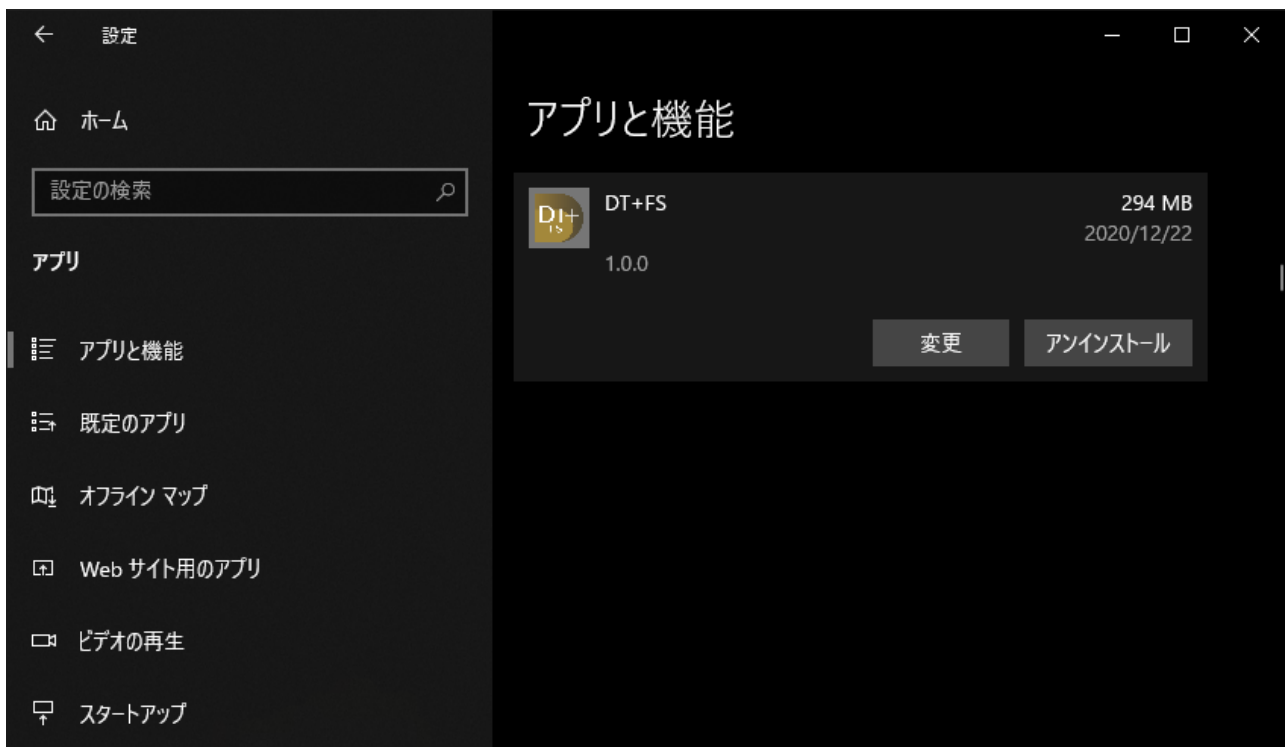
閉じる(O)

以上でインストール作業は完了です。

1.5 DT+FS のアンインストール

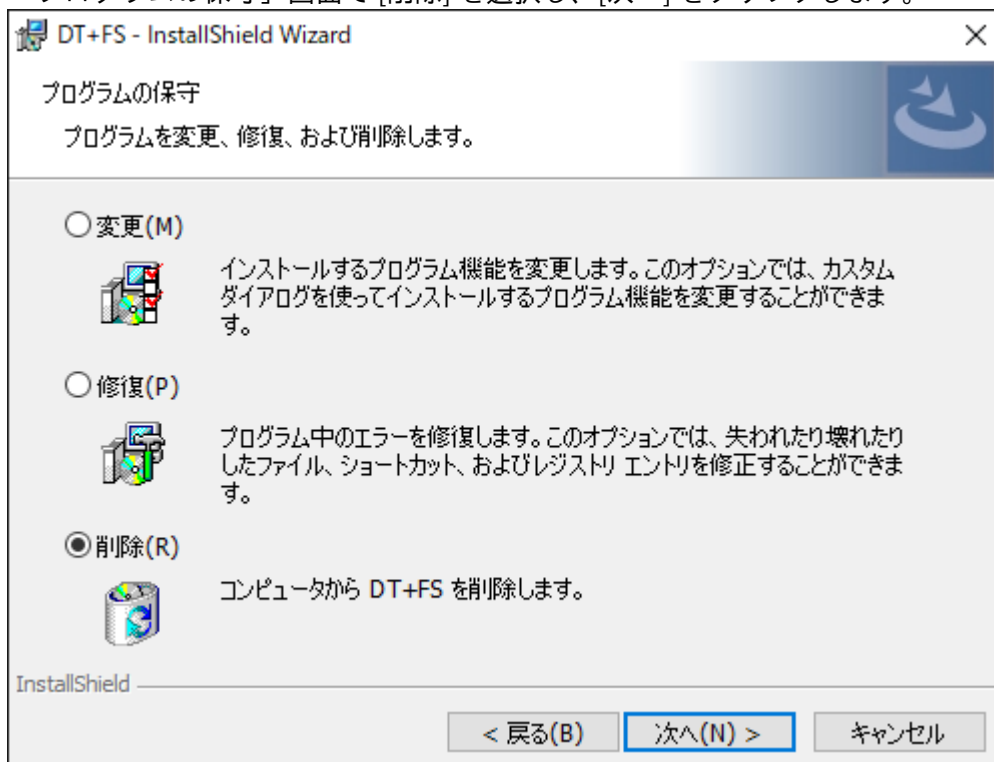
1.5.1 「Windows の設定」からのアンインストール

1. 「設定」を開きます。
2. [アプリ] をクリックします。
3. 「アプリと機能」の一覧から [DT+FS] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
4. 表示に従いアンインストールを行ってください。

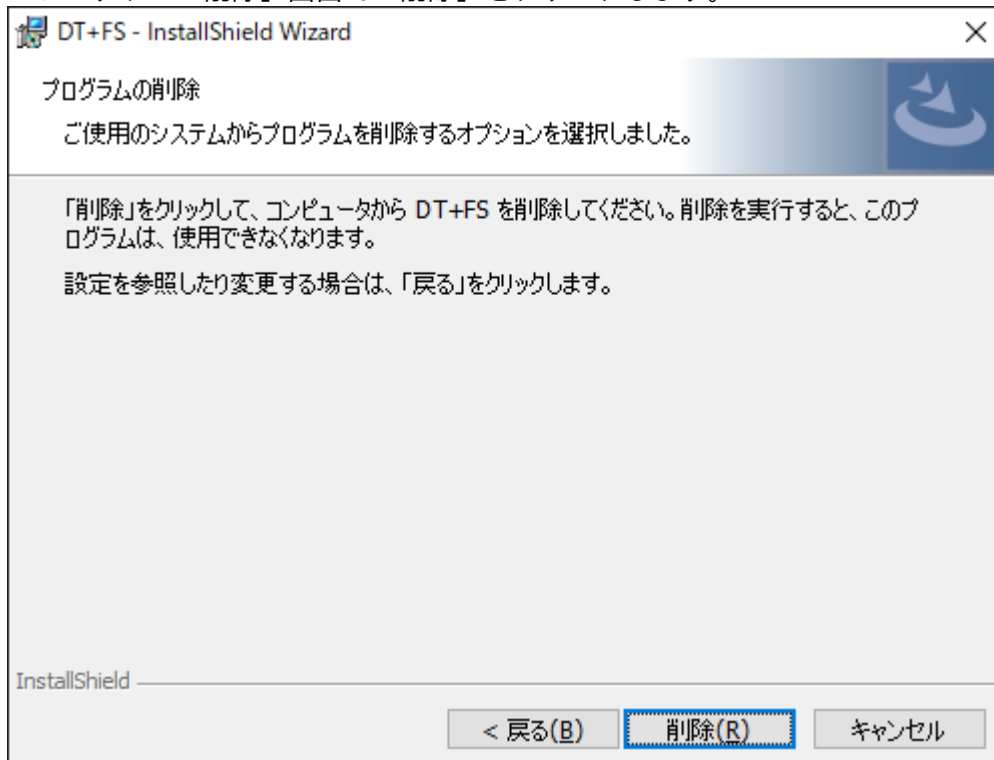


1.5.2 インストーラからのアンインストール

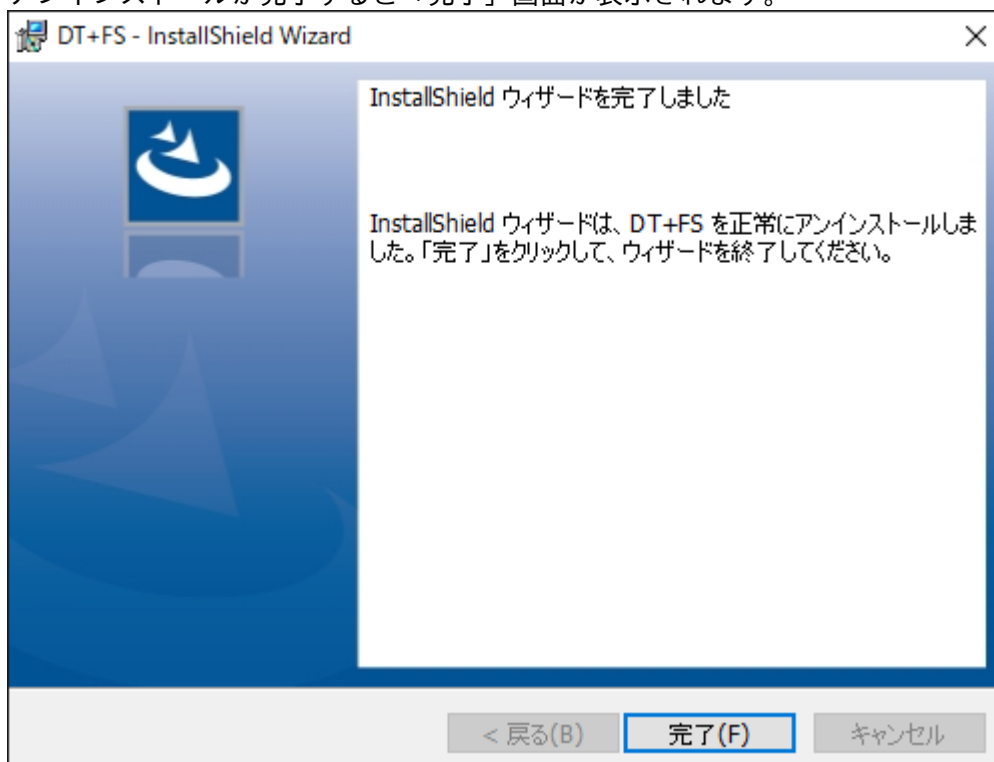
1. アプリケーションのインストールで使用した `setup.exe` を実行します。
2. 「ようこそ」画面で [次へ] をクリックします。
3. 「プログラムの保守」画面で [削除] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. 「プログラムの削除」画面で「削除」をクリックします。



5. アンインストールが行われます。
6. アンインストールが完了すると「完了」画面が表示されます。

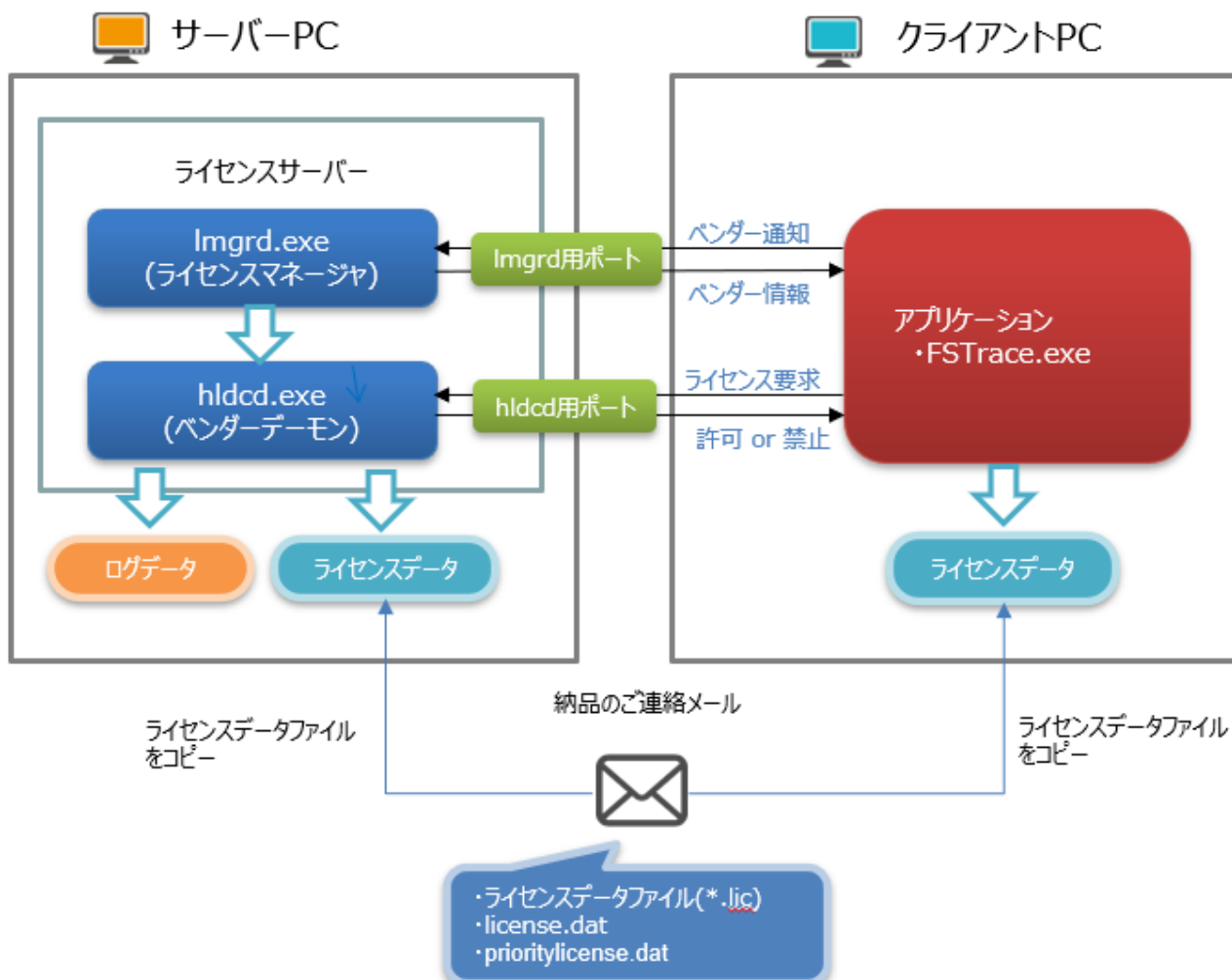


2 ライセンスのセットアップ

本章では、DT+FS のライセンスのセットアップの手順について説明します。

2.1 ライセンスの構成

DT+FS のライセンスシステムは、Flexera Software 社（以下 Flexera）が販売するライセンス管理システム「FlexNet Publisher」を使用しています。ライセンスシステムの構成としては以下の図のようになっていいます。



ライセンスサーバーは、「lmgrd.exe」と「hldcd.exe」の2つのツールで構成されています。

「lmgrd.exe」は、Flexera が提供するベンダー毎のライセンスマネージャ管理ツールです。

「hldcd.exe」は、Flexera の提供する雛形ソースにハートランド・データ独自の情報を加えた、ベンダーデーモンです。

サーバー PC とは、これらのライセンスを管理するツールが動作する PC のことを指します。(Windows Server 等の OS である必要はありません。)

クライアント PC で DT+FS が実行されると、クライアント PC の指定の場所に置かれているライセンスにアクセスし、サーバー情報や許可されているエディションを参照します。

サーバー情報に従ってライセンスマネージャ (lmgrd.exe) にアクセスし、ベンダーデーモンの情報を

求めます。

ベンダーデーモンの情報からクライアント PC のアプリケーションは、ベンダーデーモン (hldcd.exe) にアクセスします。

ベンダーデーモンはサーバー PC にあるライセンスを参照し、ライセンスの許可、または禁止をクライアントに返します。

2.2 セットアップ前の確認事項

DT+FSLicenseManager をインストールする PC について以下をご確認ください。

- 27,000～27,009 番のポートが 2 つ解放可能なこと。
 - ライセンスサーバー用に 27,000～27,009 番のポートの内 2 つのポートを使用します。
- ソースコード構造解析エンジン用の 9001 番のポートが解放可能なこと。
 - ネットワーク上にファイアウォール等が導入されている場合、クライアントからライセンスサーバーへの接続が遮断されますので、UDP ポート番号の 9001 の通信を許可する設定をしてください。
- 再起動が可能な PC であること。
 - インストール終了後、PC を再起動させる必要があります。
- 次のアプリケーションがインストールされている場合、アンインストールしてください。
 - DTLicenseManager
 - DTTestPointBuilderLicenseManager
 - DT+LicenseManager

2.3 Windows サーバーのセットアップ

2.3.1 動作環境

2.3.1.1 OS

- Windows 10 (32bit/64bit)
- Windows 11 (64bit)
- Windows Server 2012 (32bit/64bit)
- Windows Server 2016 (64bit)
- Windows Server 2019 (64bit)
- Windows Server 2022 (64bit)

2.3.1.2 コンピュータ本体

- Pentium 100MHz 相当以上の CPU
- 空きメモリ 5.0MByte 以上を推奨
- 空きディスク 10.0MByte 以上

2.3.2 ライセンスマネージャのインストール

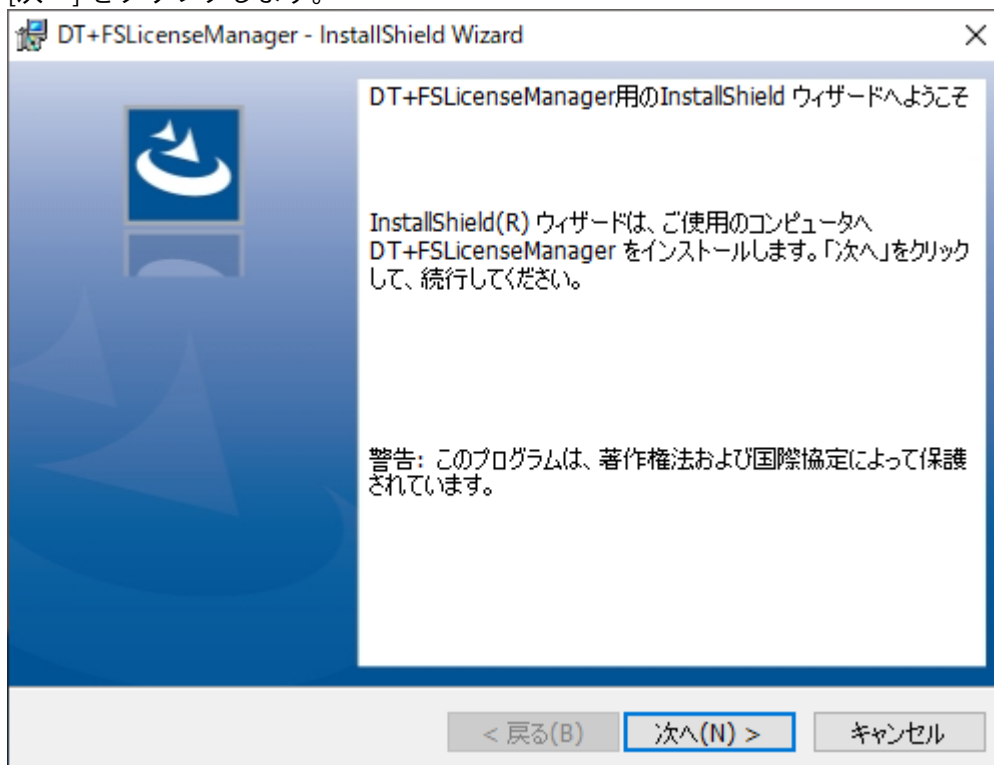
注意

ライセンスファイル(.lic)はサーバーPC、クライアントPCの両方で使用しますので、コピーしてください。

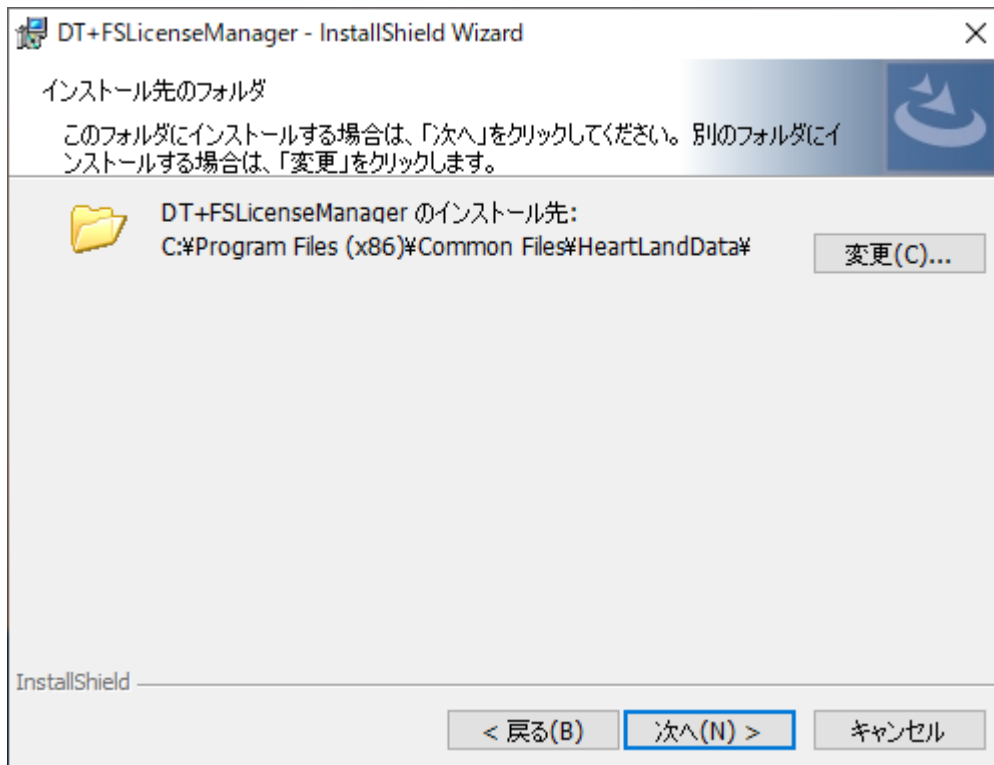
弊社サポートページからダウンロードをした `setup.exe` を実行すると DT+FSLicenseManager のインストールが始まります。

以下の手順に従いインストールを行ってください。

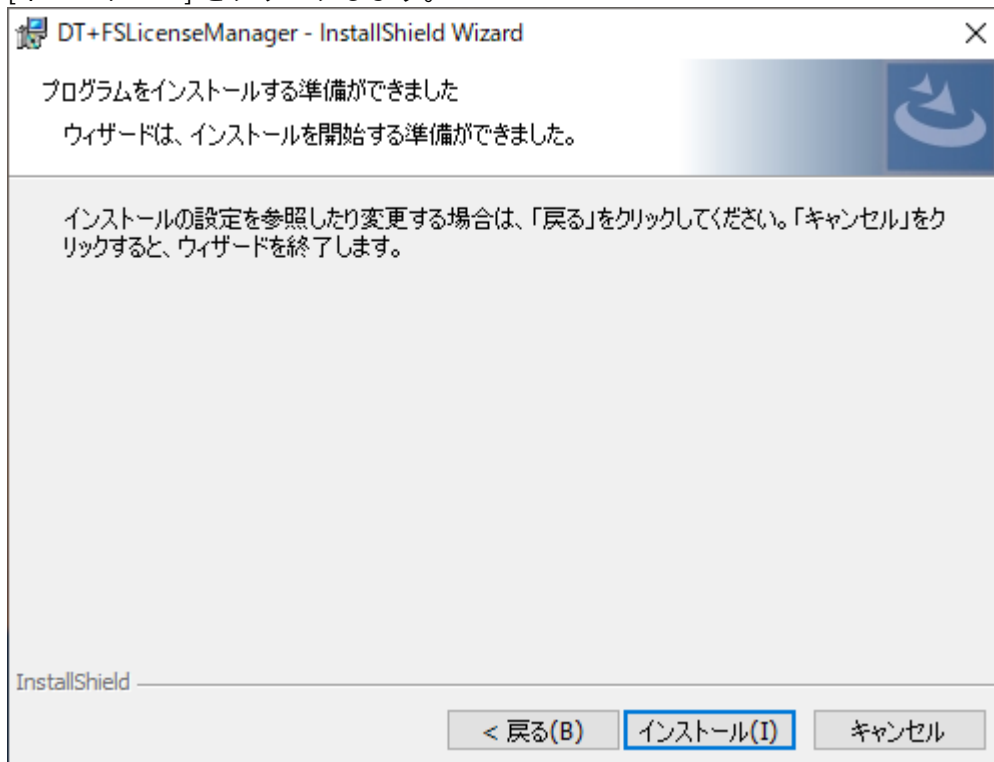
1. インストール準備が整うと、「ようこそ」画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。



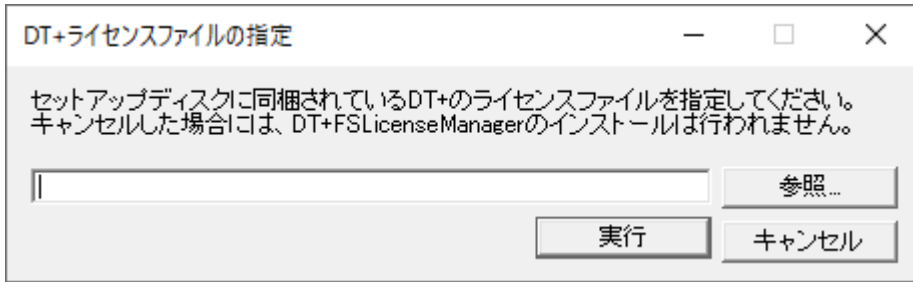
2. 「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。
必要に応じてインストール先を変更します。[次へ] をクリックします。



3. 「インストール準備完了」画面が表示されます。
[インストール] をクリックします。

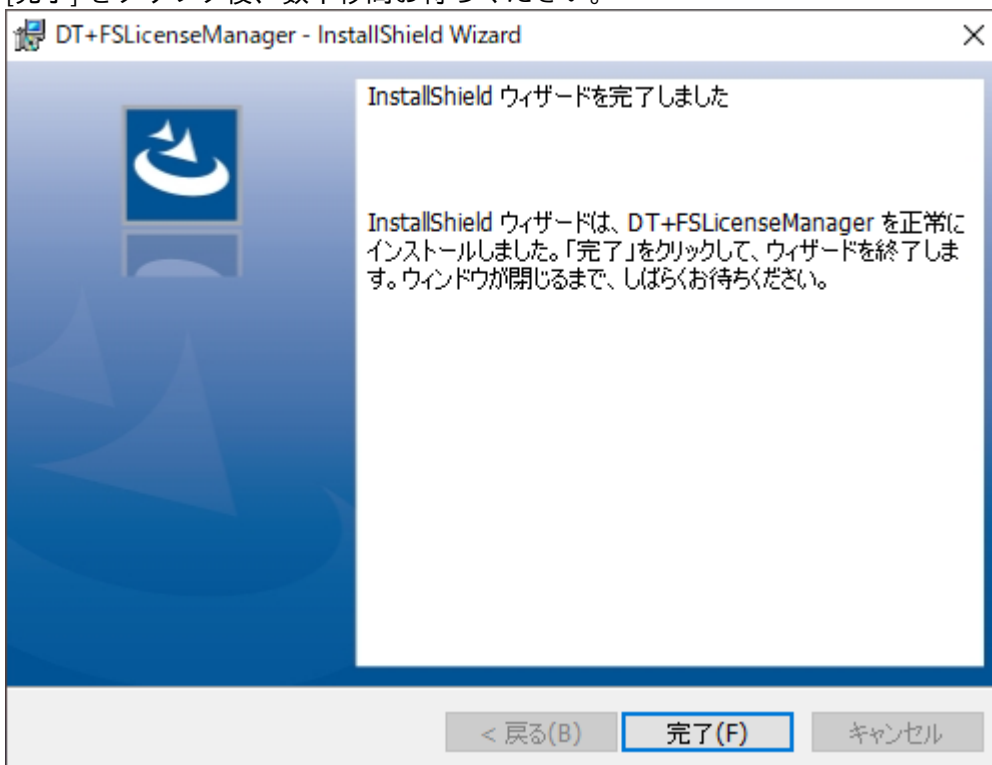


4. インストールが行われます。
5. 途中、自動的に「DT+ライセンスファイルの指定」ダイアログが開きます。DT+FS のライセンスファイル (*.lic) を選択し、[実行] をクリックします。

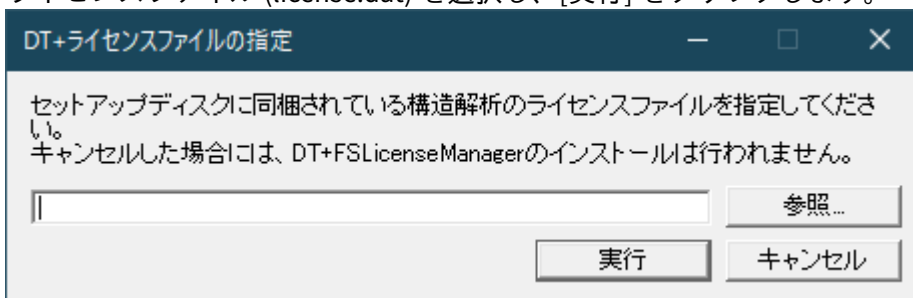


6. 「success」メッセージが表示されれば、DT+FSLicenseManager のインストール、サービス登録は正しく完了しています。
[OK] をクリックします。

7. 正常にインストールされると、「完了」画面が表示されます。
[完了] をクリック後、数十秒間お待ちください。



8. ソースコード構造解析エンジン用のライセンスを選択するダイアログが表示されます。
ライセンスファイル (license.dat) を選択し、[実行] をクリックします。

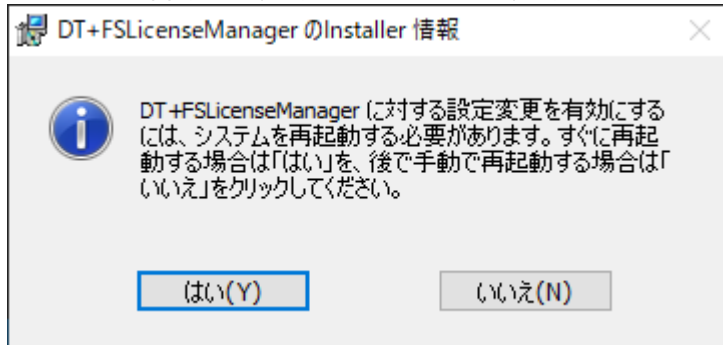


9. 「success」メッセージが表示されれば、ソースコード構造解析エンジンのインストール、サービス登録は正しく完了しています。

[OK] をクリックします。

10. PC の再起動を促すメッセージが表示されます。[はい] をクリックして再起動します。

[いいえ] をクリックした場合も、インストールは正しく終了します。ただし、DT+FSLicenseManager サービスが自動的に起動するのは、次回起動以降になります。



インストール作業は以上で終了です。

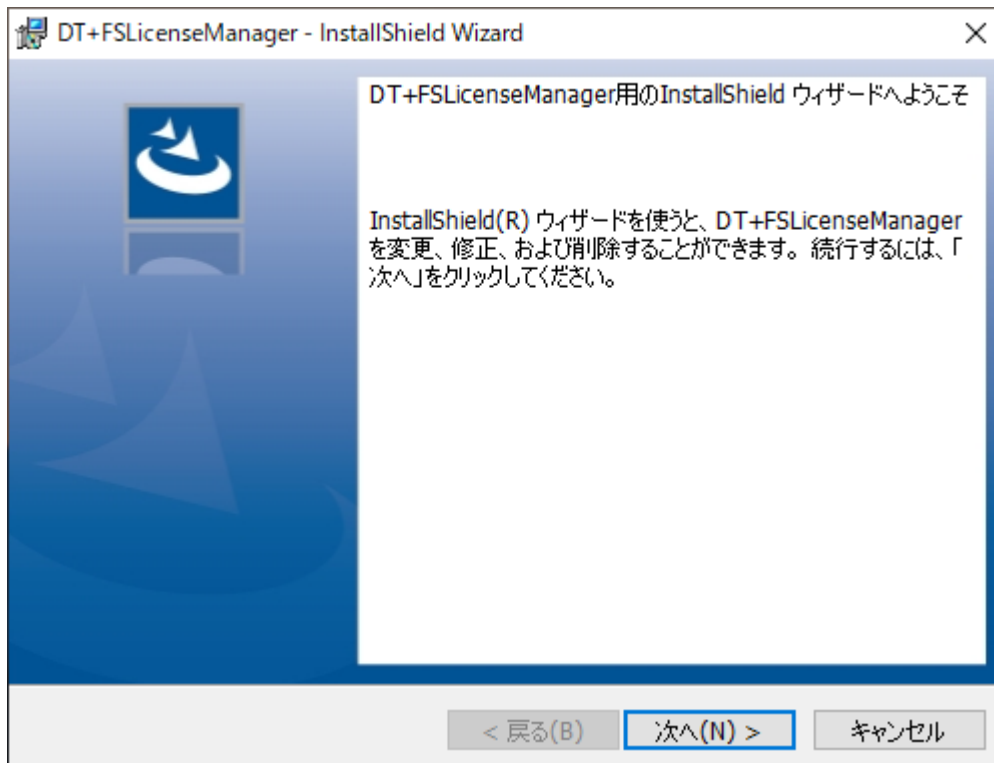
2.3.3 ライセンスマネージャのアンインストール

2.3.3.1 「Windows の設定」からのアンインストール

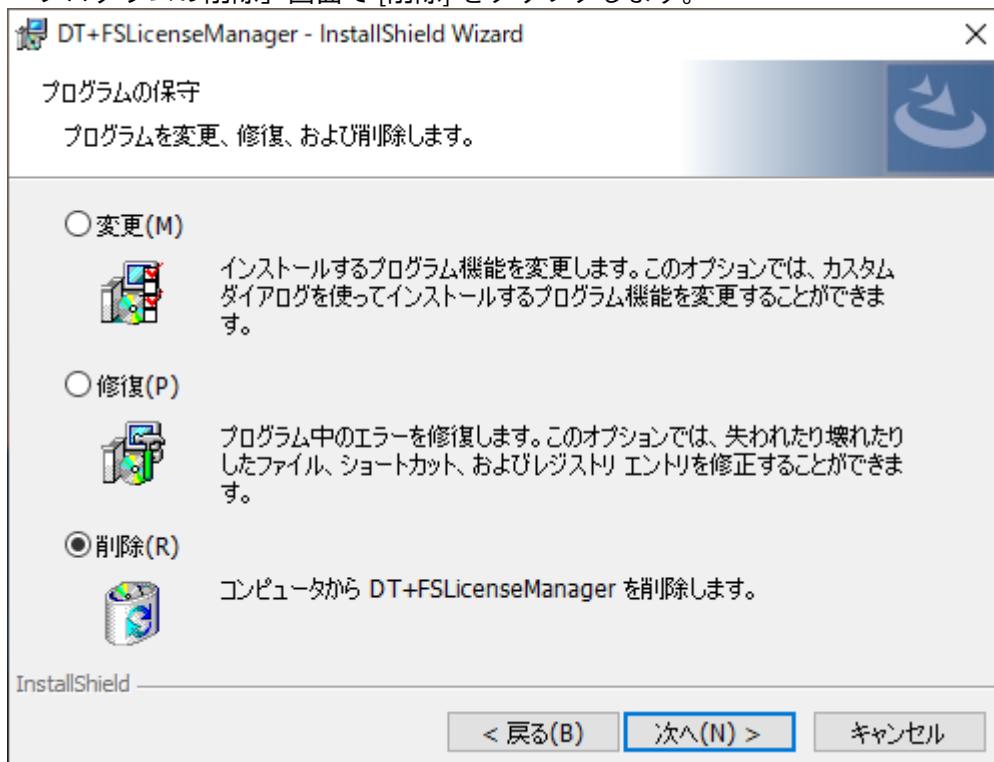
1. 「スタートメニュー」→「設定」をクリックします。
2. 「Windows の設定」ウィンドウから [アプリ] をクリックします。
3. 「アプリと機能」の一覧から [DT+FSLicenseManager] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
4. 表示に従いアンインストールを行ってください。

2.3.3.2 インストーラからのアンインストール

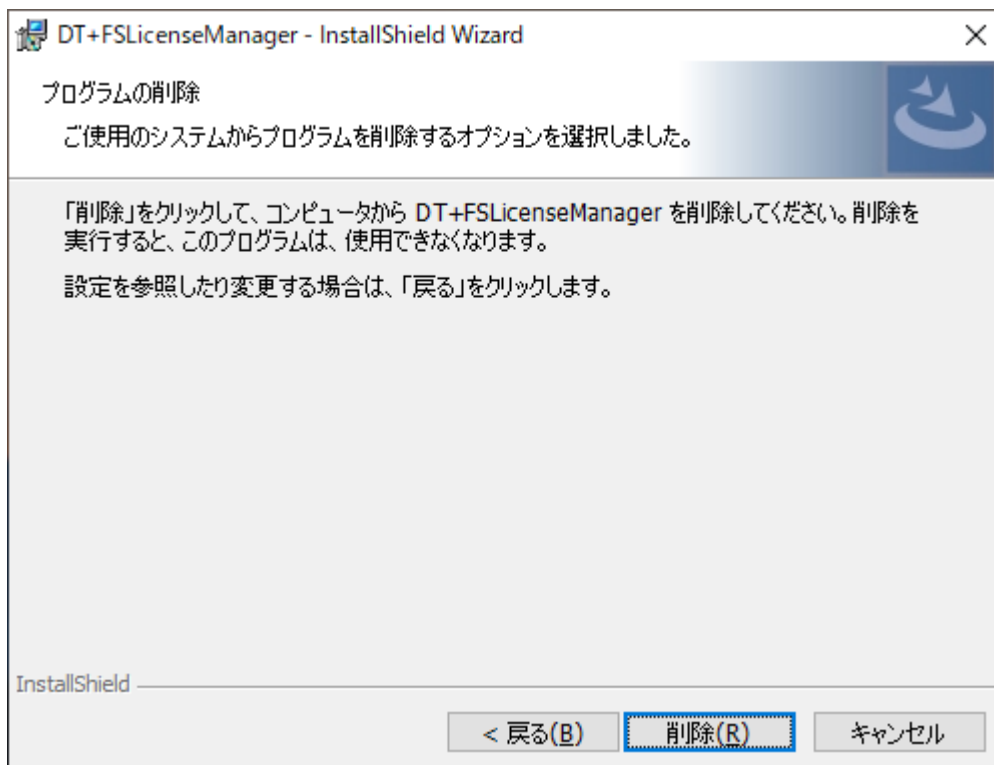
1. アプリケーションのインストールで使用した `setup.exe` を実行します。
2. 「ようこそ」画面で [次へ] をクリックします。
3. 「プログラムの保守」画面で [削除] を選択し、[次へ] をクリックします。



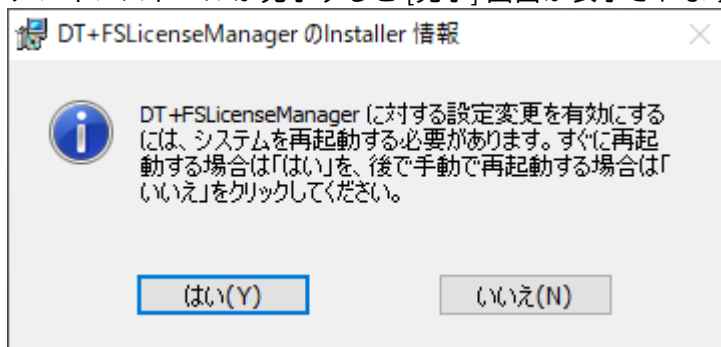
4. 「プログラムの削除」画面で [削除] をクリックします。



5. 「DT+LicenseManager の Installer 情報」メッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。



6. アンインストールが行われます。
7. アンインストールが完了すると [完了] 画面が表示されます。



8. PC の再起動を促すメッセージが表示されます。[はい] をクリックして再起動します。

2.4 Linux サーバーのセットアップ

2.4.1 動作環境

2.4.1.1 OS

- Red Hat 系 Linux (32/64bit)
- SUSE 系 Linux (32/64bit)
- Debian 系 Linux (32/64bit)

2.4.1.2 コンピュータ本体

- Pentium 100MHz 相当以上の CPU

- 空きメモリ 5.0MByte 利用可能
- 空きディスク 10.0MByte 利用可能

2.4.2 ライセンスマネージャのインストール

注意

ライセンスファイル (.lic) はサーバー PC、クライアント PC の両方で使用しますので、コピーしてください。

1. DTPlusLM_For_XX_YY.tar.gz を解凍します。

- XX: OS の種別
- YY: アーキテクチャの種別

2. 1. で作成されたフォルダ (DT+ServerFiles) に、ライセンスファイルをコピーします。

3. 管理者モードにします。

```
1 $ su
2 $ パスワード : (管理者モードのパスワードを入力)
```

4. ターミナルから、上記のフォルダに移動します。

```
1 $ cd DTPlusServerFiles
```

5. 引数に DT+FS ライセンスファイル (.lic) とソースコード構造解析エンジン用のライセンスファイル (license.dat) を指定して、サーバーセットアップ用のシェルスクリプトを実行します。

```
1 $ ./DTPlusLM_Install.sh DT+FSライセンスファイル(.lic) license.dat
```

6. 以下のように表示されれば、正常にセットアップされ、ライセンスマネージャが起動されます。

```
1 Copying files...
2 Setting a license file.
3 Regist a service.
4 Start a service.
5 Starting lmgrd -c /usr/local/DTPlusLM/lic -l /usr/local/DTPlusLM/logs/
  DTPlus_lic_sv.log: [ OK ]
6 DT+ license manager setup is completed.
```

以上でインストール作業は終了です。

DT+LicenseManager は付属のシェルスクリプトによってセットアップされます。

次のディレクトリに必要なファイルがコピーされます。

```
1 /usr/local/DTPlusLM
2 /usr/local/scitools
```

もし、上記とは異なる場所に配置したい場合は、次の各シェルスクリプトのフォルダの記述を任意のパスに書き換えてから実行してください。

- DTPlusLM_Install.sh の 2 行目

```
1 DTPlus_LM_EXTRACT=/usr/local
```

- DTPluslmsvr の 11 行目

```
1 DTPlus_LM_HOME=/usr/local/DTPlusLM
```

- almsvr の 11 行目

```
1 UND_LM_HOME=/usr/local/scitools
```

2.4.3 ライセンスマネージャのアンインストール

管理者モードで、次のシェルスクリプトを実行します。

```
1 ./DTPlusLM_Uninstall.sh
```

ライセンスマネージャをインストールした際に、ファイル式の配置場所を変更している場合は、上記のスキプトの 2 行目のパスを配置先のパスに変更してください。

何らかの要因でライセンスマネージャが停止している場合やインストールが失敗しているような場合は、いくつかのコマンド実行時にエラーが表示されますが、スクリプトは最後まで（関連ファイルの削除まで）実行されます。

2.5 クライアントマシンのセットアップ

注意

ライセンスファイル (.lic) はサーバー PC、クライアント PC で使用しますので、コピーしてください。

1. クラアントマシンに DT+FS をインストールします。

- DT+FS のインストール方法は、【DT+FS のセットアップ】をご確認ください。

2. DT + FS ライセンスファイル (.lic) を DT+FS のインストールフォルダにコピーします。
3. ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル (prioritylicense.dat) を次のフォルダにコピーします。

- <DT+Trace インストールフォルダ>\tool\scitools\conf\license\

4. コマンドプロンプトを管理者権限で起動し、以下のコマンドを実行します。

```
1 > cd C:\Program Files\HeartlandData\DT+FS\tool\scitools\bin\pc-win64
2 > und
```

5. ソースコード構造解析エンジン用ライセンス設定ファイル (license.ini) を次のフォルダにコピーします。

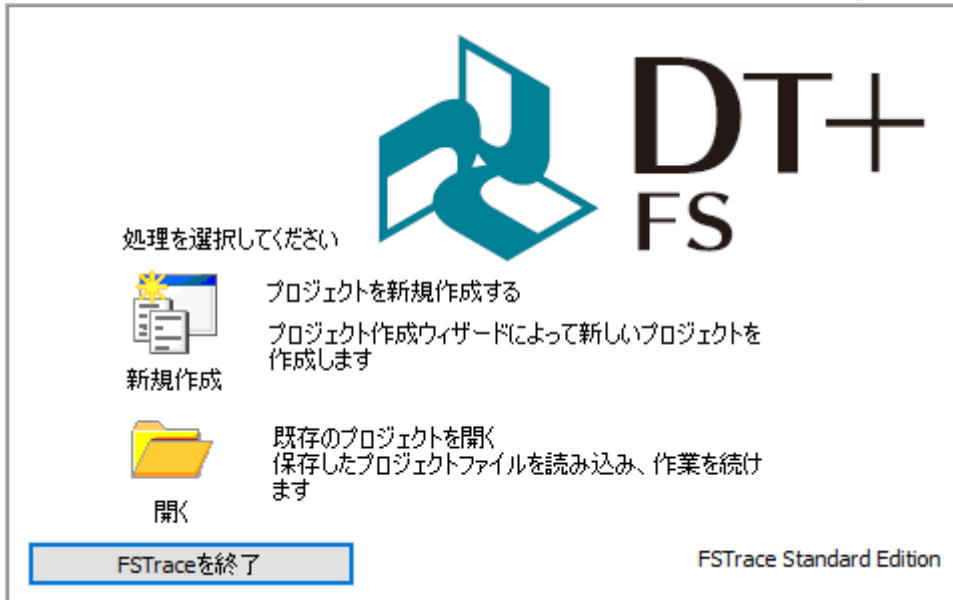
- <ユーザーフォルダ>\AppData\Roaming\SciTools\

※ AppData は隠しフォルダです。

2.6 ライセンシングの確認

2.6.1 クライアントマシンから確認する (DT+FS)

1. クライアントマシンから FSTrace を起動します。
2. 「Standard Edition」と表示されていれば、ライセンス認証完了です。



2.6.2 クライアントマシンから確認する (ソースコード構造解析エンジン)

1. コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。
2. 以下のコマンドを入力して [Enter] を押してください。

```
1 > cd C:\Program Files\HeartlandData\DT+FS\tool\scitools\bin\pc-win64
2 > und
```

- 上記のコマンドはインストール保存場所がデフォルトの場合になります。

3. 「Welcome to und.」と表示されていれば、ライセンス認識完了です。

2.6.3 サーバマシンから確認する

サーバマシン内に作成されるログファイルからも動作の確認ができます。

1. ライセンスマネージャのインストールフォルダのログフォルダ内にあるログファイルを開きます。
 - デフォルト設定の場合は、Windows、Linux で以下のフォルダになります。
 - Windows: \Program Files\Common Files\HeartLandData\logs
 - Linux: /usr/local/DTPlusLM/logs

2. クライアントマシンからのチェックイン、チェックアウトが正常に行われた場合、ログファイルは以下ようになります。

```

16:53:46 (lmgrd) -----
16:53:46 (lmgrd) Please Note:
                (略)
16:53:46 (lmgrd) -----
16:53:46 (lmgrd)
16:53:46 (lmgrd)
16:53:46 (lmgrd) pid 5092
16:53:46 (lmgrd) Done rereading
16:53:46 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on hldc (IBM PC) (8/25/2022)
16:53:46 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
16:53:46 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
16:53:46 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
16:53:46 (lmgrd) License file(s): C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\test.lic
16:53:46 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
16:53:46 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
16:53:46 (lmgrd) Starting vendor daemon at port 27001
16:53:46 (lmgrd) Using vendor daemon port 27001 specified in license file
16:53:46 (lmgrd) Started hldcd (pid 5244)
16:53:46 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
16:53:46 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
16:53:46 (hldcd) Server started on hldc for:
16:53:46 (hldcd) DTPlusFSCSTD (consisting of:                DTPlusFSFloat
16:53:46 (hldcd) DTPlusFSBldFloat DTPlusFSCMDFloat)
16:53:46 (hldcd) EXTERNAL FILTERS are OFF
16:53:46 (hldcd) ALL FEATURES: INACTIVITY TIMEOUT set to 900 seconds
16:53:46 (lmgrd) hldcd using TCP-port 27001
16:54:08 (hldcd) TCP_NODELAY NOT enabled
16:54:08 (hldcd) OUT: "DTPlusFSCSTD" hldc@hldc
16:54:08 (hldcd) OUT: "DTPlusFSFloat" hldc@hldc
16:54:17 (hldcd) IN: "DTPlusFSFloat" hldc@hldc
16:54:17 (hldcd) IN: "DTPlusFSCSTD" hldc@hldc

```

サーバーホスト

ライセンスファイル

クライアントPCからのチェックイン

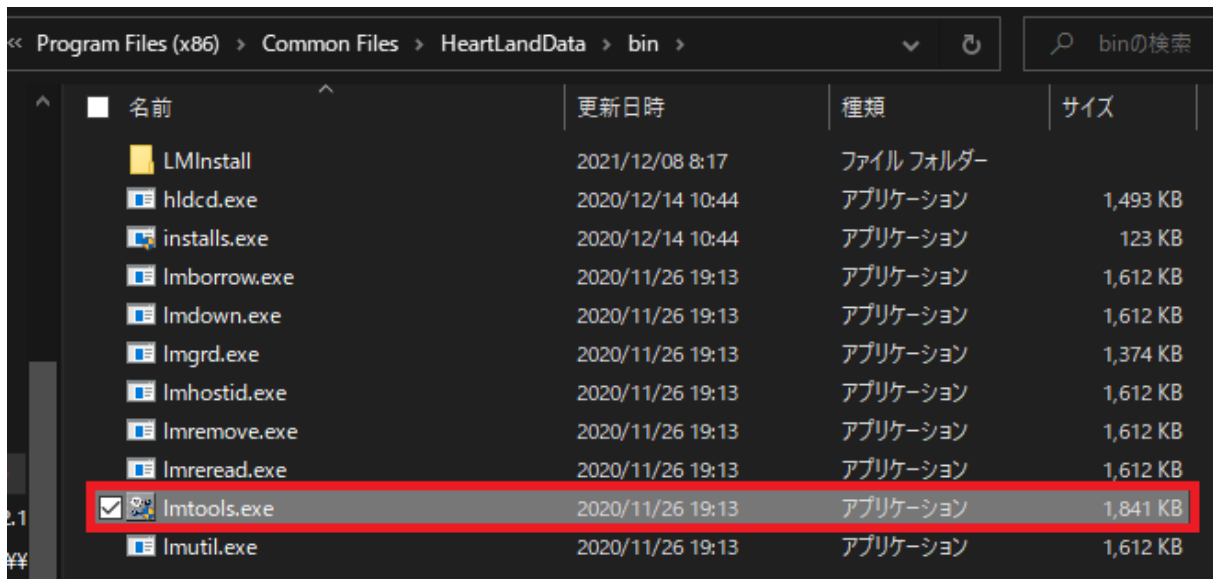
クライアントPCからのチェックアウト

2.7 ライセンスの更新

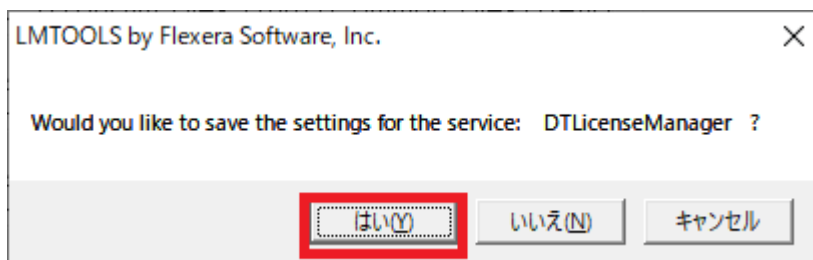
2.7.1 Windows サーバーのライセンス更新

- ソースコード構造解析エンジン用のライセンスファイル (licenses.dat) の更新は必要ございません。

- ライセンスマネージャをインストールしたフォルダにある `lmtools.exe` を起動します。



2. LMTOOLS から、[Config Service] タブをクリックします。
3. 「Path to the license file」項目の [Browse] ボタンをクリックし、表示されるファイル選択ダイアログからライセンスファイルを選択します。
4. LMTOOLS を閉じます。
5. 「Would you like to save the settings for the service?」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



6. サーバマシンを再起動します。

2.7.2 Linux サーバーのライセンス更新

- ソースコード構造解析エンジン用のライセンスファイル (licenses.dat) の更新は必要ございません。
1. ライセンスをインストールしたフォルダにある古いライセンスファイルを削除します。
 2. 上記の場所に新しいライセンスファイルをコピーします。
 3. サーバマシンを再起動します。

2.7.3 クライアントマシンにおける更新

- ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル (prioritylicense.dat) の更新は必要ございません。

期限切れのライセンスファイルを削除し、新しいライセンスファイルをコピーします。

2.8 トラブルシューティング

2.8.1 DT+FSLicenseManager のインストール中に「プログラム互換性アシスタント」が表示される。

セットアップ処理中に起動する `install.exe` (インストール先に展開されるファイルの1つ) により表示されるものです。`install.exe` は、「アプリと機能」に追加されないため、確認のメッセージが表示されます。

正しい動作ですので、このメッセージが表示された場合には、[このプログラムは正しくインストールされました] をクリックしてください。

2.8.2 DT+FSLicenseManager のインストールに失敗する。

DT+FSLicenseManager のインストール中、ライセンスファイル指定後に [実行] をクリックした後、「インストールに失敗しました。」と表示されることがあります。

以下が原因として考えられます。

- 同名サービス (DT+FSLicenseManager) が既に登録されている。
 - 「コンピュータの管理」画面からご確認ください。
- インストール先のフォルダに `install.exe` が正しく展開されていない。
 - インストール先に `install.exe` が存在するかご確認ください。
- 管理者権限でセットアップを実行していない。

2.8.3 クライアント PC で構造解析エンジンのライセンスでエラーが発生する

以下の状況における内容を説明します。

- `und` コマンドを実行したときに「This license has expired.」と表示される。
- `und` コマンドで実行したときに「Fatal Error: No valid Understand license found」「No license」と表示される。

2.8.4 `und` コマンドを実行したときに「This license has expired.」と表示される。

```
C:\Program Files\HeartlandData\DT+FS\tool\scitools\bin\pc-win64>und
This license has expired.
```

ライセンス設定ファイル (`license.ini`) のコピーをしていない可能性がございます。

サポートページから `license.ini` をダウンロードして以下のフォルダにコピーしてください。

- <ユーザーフォルダ>\AppData\Roaming\SciTools\

※ AppData は隠しフォルダです。

2.8.5 und コマンドを実行したときに「Fatal Error: No valid Understand license found」「No license」と表示される。

```
C:\Program Files\HeartlandData\DT+FS\tool\scitools\bin\pc-win64>und
Fatal Error: No valid Understand license found
No license
```

以下を確認してください。

- クライアント PC で DT10 AutomotiveEdition や Understand をインストールしている場合は、アンインストールを行ってください。
- ライセンスサーバー PC とクライアント PC でファイアウォール、セキュリティソフトを OFF にしていただき、ライセンスが認識するかご確認ください。
- ライセンスサーバー PC 側のファイアウォールの設定で、UDP ポート 9001 番が許可されているかご確認ください。
- ライセンスサーバー PC でタスクマネージャーを起動していただき、「almdServiceAlt」が起動していることをご確認ください。起動していない場合は起動後に再度ライセンスのご確認ください。
- ライセンスサーバー PC で以下のコマンドを実行していただき、エラーが発生しないかご確認ください。

```
1 > cd C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartlandData\SciTools\bin\pc-win32
2 > almstatus -l "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartlandData\SciTools\conf\license\license.dat"
```

またこちらの内容を問い合わせフォームまでご送付ください。

- ホスト名を IP アドレスに変更すると認識する場合がございます。

必要に応じてエディタで license.dat と prioritylicense.dat のホスト名を IP アドレスに変更して PC の再起動後にライセンスのご確認ください。

- license.dat

```
# license.dat - license file SciTools products
# STI number: sti06404
# Company: Heartland.Data Inc.
# Issue date: 2021-03-24
# Number of days users can checkout a license, 1-31. Set to 0 to disable
ToGo: 0
```

```
Server: hostname aabbccdd 9001
```

- prioritylicense.dat

```
Server: hostname 00000000 9001|
```

- UDP ポート 9001 番が別で使用されている場合は、ポート番号を変更すると認識する場合がございます。

必要に応じてエディタで license.dat と prioritylicense.dat のポート番号を変更して PC の再起動後にライセンスのご確認ください。

- license.dat

```
# license.dat - license file SciTools products
# STI number: sti06404
# Company: Heartland.Data Inc.
# Issue date: 2021-03-24
# Number of days users can checkout a license, 1-31. Set to 0 to disable
ToGo: 0

Server: hostname aabbccdd 9001
```

- prioritylicense.dat

```
Server: hostname 00000000 9001
```

2.8.6 ライセンスサーバーのログファイルの確認方法

以下の状況におけるログファイルの内容を説明します。

- ライセンスの登録を間違えている。(サーバーインストールの手順間違い)
- 指定の情報 IP アドレスでサーバホストを特定できない。
- 指定の MAC アドレスに間違いがある。
- ライセンスチェックの通信がファイアウォールによって遮断されている。
- ライセンスの期限が切れている。

2.8.6.1 ライセンスの登録を間違えている。(サーバーインストールの手順間違い)

```
17:40:33 (lmgrd) -----
17:40:33 (lmgrd) Please Note:
      :
      :
17:40:33 (lmgrd) -----
17:40:33 (lmgrd)
17:40:33 (lmgrd) pid 1988
17:40:33 (lmgrd) license manager: can't initialize:Cannot find license file.
17:40:33 (lmgrd) The license files (or license server system network addresses) attempted are
17:40:33 (lmgrd) listed below. Use LM_LICENSE_FILE to use a different license file,
17:40:33 (lmgrd) or contact your software provider for a license file.
17:40:33 (lmgrd) Filename: "C:¥flexlm¥license.dat"
17:40:33 (lmgrd) License Path: "C:¥flexlm¥license.dat"
17:40:33 (lmgrd) FLEXnet Licensing error:-1,359
17:40:33 (lmgrd) System Error:2 No such file or directory
17:40:33 (lmgrd) For further information, refer to the FLEXnet Licensing documentation,available at
"www.flexerasoftware.com".
17:40:33 (lmgrd) Using license file "C:¥flexlm¥license.dat"
```

ライセンスデータファイルが見つからないことを示しています。

ライセンスデータファイル名が違います。

ライセンスの登録が間違えている場合、「can't initialize:Cannot find license file.」や「No such file or directory」というメッセージが表示されます。

その場合、ライセンスのパスを確認し、その場所にライセンスファイルがあるのかを確認してください。

ライセンスファイルの登録場所が間違っている場合、ライセンスマネージャをインストールしたフォルダにある `lmtools.exe` を使用して、ライセンスファイルを再登録してください。

登録の手順は、【Windows サーバーのライセンス更新】をご確認ください。

2.8.6.2 指定の IP アドレスでサーバホストを特定できない。

```
17:10:06 (lmgrd) -----
17:10:06 (lmgrd) Please Note:
      :
      :
17:10:06 (lmgrd) -----
17:10:06 (lmgrd)
17:10:06 (lmgrd)
17:10:06 (lmgrd) pid 500
17:10:07 (lmgrd) "FTPSRV": Not a valid server hostname, exiting.
17:10:07 (lmgrd) Valid license server system hosts are: "192.168.2.100"
17:10:07 (lmgrd) Using license file "C:\¥DT10¥DT123456_STD_20140228_002.lic
```



ライセンスデータファイルが見つからないことを示しています。

指定の IP アドレスでサーバホストを特定できない場合、「“Host Name” : Not a valid server hostname, exiting.」「Valid license server system hosts are: “<IP Address>”」というメッセージが表示されます。

サーバーの IP アドレスを確認してください。IP アドレスに間違いがある場合、ライセンスファイルをエディタで開き、IP アドレスを変更してください。

また、IP アドレスが固定できない環境の場合、IP アドレスの代わりにホスト名に変更することも可能です。

```
SERVER xxx.xxx.xxx.xxx AABBCDDDEEFF 27000
VENDOR hldcd port=27001
```

IPアドレスを変更またはホスト名に変更して保存してください。

変更したライセンスファイルを保存していただき、サーバー PC とクライアント PC のライセンスファイルを差し替えてご確認ください。ライセンスが認識しましたら、次回ライセンス更新時には、以前いただいた情報 (変更前の IP アドレス) を指定してライセンス発行となりますので、IP アドレスを変更したい場合は問い合わせフォームよりライセンスの再発行を行ってください。

2.8.6.3 指定の MAC アドレスに間違いがある。

```
10:54:59 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
10:54:59 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
10:54:59 (hldcd) Server started on hldc for:
10:54:59 (hldcd) DTPlusFSCSTD (consisting of: DTPlusFSFloat
10:54:59 (hldcd) DTPlusFSBldFloat DTPlusFSCMDFloat)
10:54:59 (hldcd) Wrong hostid on SERVER line for license file:
10:54:59 (hldcd) C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\test.lic
10:54:59 (hldcd) SERVER line says d8f2ca4f78d2, hostid is "d8f2ca4f78d3"
```

MACアドレスが間違っていることを示しています。

指定の MAC アドレスでサーバホストを特定できない場合、「SERVER line says <MAC Address>, hostid is “<MAC Address>”」というメッセージが表示されます。

その場合、サーバー PC の MAC アドレスをご確認ください。MAC アドレスに間違いがある場合、ライセンス再発行が必要となりますので、問い合わせフォームよりライセンスの再発行を行ってください。

2.8.6.4 ライセンスチェックの通信がファイアウォールによって遮断されている。

```
19:27:38 (lmgrd) -----
19:27:38 (lmgrd) Please Note:
19:27:38 (lmgrd)      :
19:27:38 (lmgrd) -----
19:27:38 (lmgrd)
19:27:38 (lmgrd)
19:27:38 (lmgrd) pid 7768
19:27:38 (lmgrd) Done rereading
19:27:38 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on hldc (IBM PC) (9/8/2022)
19:27:38 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
19:27:38 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
19:27:38 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
19:27:38 (lmgrd) License file(s): C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\test.lic
19:27:38 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
19:27:38 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
19:27:38 (lmgrd) Starting vendor daemon at port 27001
19:27:38 (lmgrd) Using vendor daemon port 27001 specified in license file
19:27:38 (lmgrd) Started hldcd (pid 11760)
19:27:38 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
19:27:38 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
19:27:38 (hldcd) Server started on hldc for:
19:27:38 (hldcd) DTPlusFSCSTD (consisting of:                DTPlusFSFloat
19:27:38 (hldcd) DTPlusFSBldFloat DTPlusFSCMDFloat)
19:27:38 (hldcd) EXTERNAL FILTERS are OFF
19:27:38 (hldcd) ALL FEATURES: INACTIVITY TIMEOUT set to 900 seconds
19:27:38 (lmgrd) hldcd using TCP-port 27001
```

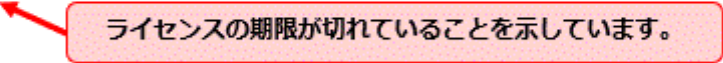
通常 DT+FS を起動しライセンスを取得すると、「OUT:“エディション”クライアント PC 名」というメッセージが表示されます。

(クライアント PC がアプリを起動しライセンスを取得することを「チェックアウト」、ライセンスを返却することを「チェックイン」と言います。)

通信がファイアウォールによって遮断されている場合、上記の様に起動メッセージの後に、チェックアウトしたメッセージが表示されません。その場合、指定のポート（通常は 27,000 番）が開放されているか、サーバー管理者に確認してください。

2.8.6.5 ライセンスの期限が切れている。

```
18:10:17 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
18:10:17 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
18:10:17 (hldcd) EXPIRED: DTPlusFSCSTD
18:10:17 (hldcd) EXPIRED: DTPlusFSFloat
18:10:17 (hldcd) EXPIRED: DTPlusFSBldFloat
18:10:17 (hldcd) EXPIRED: DTPlusFSCMDFloat
18:10:17 (hldcd) License server system started on hldc
18:10:17 (hldcd) No features to serve, exiting
18:10:17 (hldcd) EXITING DUE TO SIGNAL 27 Exit reason 4
18:10:22 (lmgrd) hldcd exited with status 27 (No features to serve)
18:10:22 (lmgrd) hldcd daemon found no features. Please correct
18:10:22 (lmgrd) license file and re-start daemons.
```



ライセンスの期限が切れていることを示しています。

ライセンスの期限が切れている場合、「EXPIRED:」というメッセージが表示されます。

その場合、保守サポートを契約中のお客様は、ライセンスを発行いたします。サポートまでお問い合わせください。

3 付録

3.1 マシンの固有情報の確認方法

3.1.1 Windows

1. コマンドプロンプトから `ipconfig /all` コマンドを実行します。
2. 実行結果のうち、物理アドレスが MAC アドレス、IPv4 アドレスが IP アドレスになります。

```
1 実行例
2
3 $ ipconfig /all
4 Windows IP 構成
5 ホスト名 . . . . . : ホスト名
6 ...
7 物理アドレス . . . . . : 01-23-45-AB-CD-EF
8 ...
9 IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.###.###
```

3.1.2 Linux

1. ターミナルから `hostname` コマンドを実行し、ホスト名を確認します。
2. 同じくターミナルから `/sbin/ifconfig eth0` コマンドを実行します。
3. 表示される実行結果から、`Hwaddr` が MAC アドレス、`inet addr` が IP アドレスになります。

```
1 実行例
2
3 $ hostname
4
5 ホスト名
6
7 $ /sbin/ifconfig eth0
8
9 eth0 Link encap:Ethernet Hwaddr 01:23:45:AB:CD:EF
10 inet addr 192.168.###.###
```

4 変更履歴

日付	バージョン	変更内容
2021/4/14	1.0.0	新規作成
2021/5/21	1.1.0	「トラブルシューティング」項を更新
2021/2/28	1.2.0	「動作環境」項を更新
2022/3/11	1.3.0	「動作環境」「トラブルシューティング」項を更新
2022/10/31	1.4.0	「Windows サーバーのセットアップ」「トラブルシューティング」項を更新

本資料ご利用に際しての留意事項

1. 本資料は、お客様が用途に応じたハートランド・データ株式会社製品をご購入頂く為の参考資料であり、本資料中に記載の技術情報についてハートランド・データ株式会社が所有する知的財産権その他の権利の実施、使用を許諾するものではありません。
2. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムその他の応用回路例の使用に起因する損害、第三者が所有の権利に対する侵害に関し、ハートランド・データ株式会社は責任を負いません。
3. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、その他全ての情報は本資料発行時点のものであり、ハートランド・データ株式会社は予告なしに本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ハートランド・データ株式会社製品のご購入に当たりますは、事前にハートランド・データ株式会社又は商社へ最新の情報をご確認頂きますとともに、ハートランド・データ株式会社 ホームページ (<https://hlcd.co.jp/>) 等を通じて公開される情報に常にご注意ください。
4. 本資料に記載した情報は、正確を期すため、慎重に作成したのですが、万一、本資料の記述誤りに起因する損害がお客様に生じた場合には、ハートランド・データ株式会社はその責任を負いません。
5. 本資料に記載の製品データ、図、表に示す技術的な内容、プログラム及びアルゴリズムを流用する場合は、技術内容、プログラム、アルゴリズム単位で評価するだけでなく、システム全体で十分に評価し、お客様の責任において適用可否を判断して下さい。ハートランド・データ株式会社は、適用可否に対する責任を負いません。
6. 本資料に記載された製品は、人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられる事を目的として設計、製造されたものではありません。本資料に記載の製品を運輸、移動体用、医療用、航空宇宙用、原子力制御用、海底中継用機器あるいはシステムなど、特殊用途へのご利用をご検討の際にはハートランド・データ株式会社または商社へご照会ください。
7. 本製品は、万全の注意を払って作成されておりますが、ご利用になった結果については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
8. Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
9. その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。
10. 本資料の転載、複製については文書によるハートランド・データ株式会社の事前の承諾が必要です。
11. 本資料に関し詳細についてのお問い合わせ、その他お気づきの点がございましたらハートランド・データ株式会社または商社までご照会ください。